

【はぐくみたい子ども像】

今年度の知夫里島留学は、子どもたち(島留学生・島内生)が以下に挙げている「はぐくみたい子ども像」へと向かっていってくれることを願い、事業を運営していきます。



〈地域に飛び出す・知夫を面白がる〉

子どもたちが知夫里島というフィールドに飛び出し、知夫里島ならではの学びを得ることで、価値観を広げてほしいという願いが込められています。また、子どもたちが知夫里島を面白がることで、知夫里島の魅力が再発見されることも期待しています。

100の約束の推進、地域を巻き込む行事の開催などを通して、この願いを実現へと近づけていきたいと思っています。

〈愛し愛される人間〉

島民のほとんどの顔と名前が分かるような、人間の距離感が近い環境で、人から「愛される」という経験、そして人を「愛する」という経験を体感してほしいという願いが込められています。

日々の生活の中での声かけや、地域交流の推進によって、「愛」を感じられる経験を作っていきたいと思っています。

〈枠にとらわれず、自ら考え選択できる〉

世の中の価値基準や、周囲の人間の価値基準に左右されず、自らの意志を信じて人生を歩めるようになってほしいという願いが込められています。

自主的な活動の推進や、多様な学びの機会の創出によって、自立心と多様な価値観を養っていきたいと思っています。

〈好奇心をもって、変化を求めて前に踏み出す〉

変化を恐れるどころか、むしろ楽しめるようなしぶとさと、人生を楽しめる感覚の豊かさを持つてほしいという願いが込められています。好奇心を刺激し、価値観の変化を生むような学びの機会を創出したり、自身の変化を認識できるような振り返りの機会を設けることにより、この願いを実現へと近づけていきたいと思っています。

〈互いに話し合い、考え、高めあう〉

互いの想いをぶつけ、考えを磨き、高めあっていくような関係性を知夫で構築してほしいという願いが込められています。子ども同士の対話や、大人と子どもの対話が生まれるような環境をつくることで、高めあう関係性を構築する手助けをしていきたいと思っています。

〈日々の暮らしへの感謝を忘れない〉

「当たり前」だと思っている世界を捉え直す想像力と、その「当たり前」に感謝ができる謙虚さ、そして、その「当たり前」を支えてくれる周囲の環境や人々にも感謝ができる豊かな心を持つてほしいという願いが込められています。感謝の心が生まれるような声かけや、日常を改めて捉え直せるような機会をつくることで、この願いを実現へと近づけていきたいと思っています。